

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月20日

計画の名称	第2期 緑が文化になるまち‘盛岡’の形成												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	盛岡市												
計画の目標	<p>森の緑、水辺の緑、田圃の緑、まちの緑、これらは四季折々に様々な顔を見せ、盛岡市を特徴付けています。様々な機能を持つこれらの緑は、私たちに多くの恵みを与えてくれるかけがえないものです。</p> <p>“緑は生物の多様性を確保する基盤となるものであり、地域環境さらには地球環境にとってかけがえないものであること” “盛岡らしい緑を確保するために、量、質、連続性の観点からの取り組みが必要であること”を意識し、緑の保全や創出を計画の目標として掲げます。</p> <p>また、“盛岡の緑は市民自らが守り育てていくもの”であり“それによって盛岡独自の緑の文化が醸成されていく”という考えのもと、多くの市民の声を計画に反映させるとともに、“市民参加”を計画の柱の一つとして位置付けます。</p> <p>具体的には、 森の緑を活かします 水辺の緑を活かします 田圃の緑を活かします まちの緑を守り育てます</p> <p>市民活動を支援します 緑の情報を広めます 緑に親しむ機会や場を充実させます 魅力ある公園(緑の拠点)を守り育てます</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	522	A	522	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	ひとり当たりの都市公園等面積11.9㎡/人(R1)から12.0㎡/人(R6)に増加 ひとり当たりの都市公園等面積を増加させます。 年度末における都市公園等面積を集計し次式より算定する。 算定式 = 都市公園等(都市公園+墓園+広場+農村公園)の開設面積 / 行政区域内国勢調査の推計人口	11㎡/人	12㎡/人	12㎡/人
2	まちなかに緑が多いと思う市民の割合 74.2%(R1)から80.0%(R6)に増加 「盛岡市まちづくり評価アンケート」により調査する。 実施方式:アンケート 調査地域:盛岡市域 調査対象:満20歳以上の市民 標本数:3,000人 抽出方法:住民基本台帳より無作為抽出 調査方法:郵送による配布、回収	74%	78%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	都市公園事業(岩山公園)	計画面積 A=26.6ha	盛岡市						357	-	
	A12-002	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	都市公園事業(太田1号街区公園)	公共施設管理者負担金	盛岡市						165	-	
											小計						522		
												合計						522	

事前評価チェックシート

計画の名称： 第2期 緑が文化になるまち‘盛岡’の形成

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が盛岡市総合計画に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 計画の目標が盛岡市緑の基本計画に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標が計画の目標に適合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と定量的指標・定量的指標の目標値の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・定量的指標の目標値と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 計画の目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 定量的指標・定量的指標の目標値が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標に対して十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○